



子どもたちはお手伝いが大好きです



毎日の園生活の中で、「やってみたい！」という気持ちがぐんと育ち、日々の生活の中でお手伝いをする姿が多く見られるようになりました。



朝のお部屋での準備では…

- ☆保育士と一緒にワゴンを押して、お部屋に運ぶ
- ☆おしぼりを巻く
- ☆コップを並べる

給食の準備では…

- ☆スプーンとフォークを並べる
- ☆お皿を並べる
- ☆納豆をお皿によそう
- ☆自分のご飯とみそ汁をよそう



2歳7か月の男の子のエピソード

お友達がお茶をこぼしました。
お友達が困っていると、その姿を見ていた男の子は、すぐに雑巾を持ってきて拭いてあげました。「拭いたから大丈夫！」と、優しい言葉もかけていました。

2歳0か月の女の子のエピソード

花を生け、お友達が座っている机の上に「どうぞ。」と花瓶を置きました。
お友達に「きれいだね。」と言われると、繰り返し花瓶に花を生け、たくさん机の上に並べていました。

保育士が「ありがとう。」と伝えると、とっても嬉しそうな笑顔を見せてくれます。自分のしたことが誰かの役に立っているという経験は、子どもたちにとって大きな喜びです。

お手伝いの時間は、ただ手を動かすことだけでなく、相手を思いやる心や、できることが増えていく嬉しさを感じる大切な学びのひとときです。

これからも、一人ひとりの「やってみたい！」という気持ちを大切にしながら、生活での成長を丁寧に見守っていきたいと思います。

ご家庭でも、子どもができそうな小さなことから一緒に取り組んでみてください。
「ありがとう。」「うれしいね。」と声をかけてもらうことで、子どもたちは“家族の一員として役に立てた”というあたたかい満足感を感じることでしょう。